

# Symphony

TOKYO SYMPHONY ORCHESTRA MONTHLY CONCERT BROCHURE

2020  
JUNE

No. 681

Fri. 26th June  
Subscription Concert

No. 76

Sun. 28th June  
Kawasaki Subscription Concert

6



Jonathan Nott, *Music Director*



TOKYO SYMPHONY ORCHESTRA

Jonathan Nott, Music Director

音楽監督	ジョナサン・ノット
桂冠指揮者	秋山和慶 ユベール・スダーン
特別客演指揮者	飯森範親
名誉客演指揮者	大友直人
永久名誉指揮者	アルヴィド・ヤンソンス ◆ 上田 仁 ◆ 遠山信二 ◆

名誉コンサートマスター 大谷康子

コンサートマスター	グレブ・ニキティン 水谷 晃
アシスタント・ コンサートマスター	田尻 順 廣岡克隆

会長	横川 端
理事長	澤田秀雄
副理事長	平澤 創 依田 巽
専務理事	大野順二
常務理事	辻 敏◇
理事	阿部武彦 夏野 剛 池辺晋一郎 南部靖之 伊藤美樹 福川伸次 大橋 博 藤原 洋 岡崎哲也 増岡聡一郎 庄司 薫 竹中平蔵◇ 永山 治
監 事	磯村文靖 寺西基之
評議員長	金山茂人
最高顧問	梅沢一彦 鷗海量明 片山泰輔 加藤英輔 西村 朗 星 久人 松木康夫 山添 茂 横川 竟
特別顧問	飯島延浩 草壁悟朗 福田紀彦

1st Violins

- 木村正貴
- 堀内幸子
- 小川敦子
- 加藤幸子
- 立岡百合恵
- 土屋杏子
- 中村楓子
- 森岡ゆりあ
- 吉川万理
- 大和田ルース

2nd Violins

- 清水泰明
- 服部亜矢子
- 坂井みどり
- 加藤まな
- 福留史紘
- 阿部真弓
- 河裾あずさ
- 塩谷しずか
- 鈴木浩司
- 竹田詩織
- 渡辺裕子

Violas

- 青木篤子
- 武生直子
- 西村真紀
- 多井千洋
- 山廣みほ
- 小西広興 ●
- 鈴木まり奈
- 永井聖乃
- 松崎里絵

Cellos

- 伊藤文嗣
- 川井真由美
- 謝名元 敏
- 蟹江慶行
- 樋口泰世
- 福岡茉莉子 \*

Double Basses

- 回助川 龍
- 北村一平
- 久松ちず
- 安田修平
- 渡邊淳子
- 笠原勝二

Flutes

- 相澤政宏
- 八木瑛子 \*

Flutes & Piccolos

- 高野成之
- 濱崎麻里子

Oboes

- 荒 絵理子
- 荒木奏美
- 篠崎 隆

Oboe & English horn

- 最上峰行

Clarinets

- エマニュエル・ヌヴー
- 吉野亜希菜
- 近藤千花子
- 小林利彰

Bassoons

- 福井 蔵
- 福士まり子
- 坂井由佳
- 前関祐紀

Horns

- 上間善之
- 大野雄太
- ジョナサン・ハミル
- 阪本正彦
- 加藤智浩 \*
- 清根伸吾 \*

Trumpets

- 佐藤友紀
- 澤田真人
- 野沢岳史 ●
- 松山 萌

Trombones

- 鳥塚心輔
- 大馬直人
- 住川佳祐

Bass Trombone

- 藤井良太

Tuba

- 渡辺 功

Timpani & Percussions

- 清水 太
- 武山芳史
- 綱川淳美
- 新澤義美

Harp

- 景山梨乃

Librarian

- ★武田英昭

Stage Managers

- 山本 聡
- 西岡理佐

楽団委員

- 井伊 準 ◆

楽団長 大野順二

編成局長 藤原 真

パネソナル・マネージャー 大和田浩明

楽団委員 相澤政宏 (議長)  
大野雄太 (書記)  
清水泰明  
清水 太  
鈴木浩司  
藤井良太

事務局長 辻 敏

事務局 伊藤瑛海  
■尾木貴雄  
■梶川純子  
桐原美砂  
佐藤雄巳  
高瀬 緑  
竹内裕子  
長久保宏太郎  
廣中憲士  
美濃部 敦  
山田道子  
小川博司 \*

名譽団友 深江泰輔 ◆ 三木靖雄

- 天野佳和
- 新井 汎
- 安藤史子
- 池田 肇
- 石川晴依世
- 今村和弘
- 岩澤淳子
- 上原正二
- 上原規照
- 上原未莉
- 内田彬雄
- 内田乃桐子
- 宇都 実
- 梅田 学
- 大隅雅人
- 大塚正昭
- 馬場隆弘
- 小川さえ子
- 荻野 昇
- 奥田昌史
- 晋川健二
- 加護谷酒美
- 甲藤さち
- 加藤信吾
- 金澤 茂
- 久保田一穂
- 熊谷仁士
- 小林照雄
- 小林亮子
- 佐川聖二
- 佐川裕子
- 佐々木真
- 菅野明彦
- 杉浦直基
- 鈴木一輝
- 芹澤英雄
- 菅根敦子
- 田中真輔
- 千村雅信
- 十亀正司
- 中塚和良
- 中塚博則
- 中山 智
- 西依智子
- 西脇秀治
- 野村真澄
- 馬場隆弘
- 原由美保子
- 日野 奏
- ペアンテ
- ボーマン
- 前田健一郎
- 丸山正昭
- 三浦正信
- 宮原祐子
- 宮本直樹
- 宮本 睦
- 森みさ子
- 諸橋健久
- 渡辺哲郎

【ハープ貸与：株式会社環境ステーション】

◎首席奏者 ○フォアシュペーラー ●インスペクター 回客演首席奏者  
■本部長 □部長 ★チーフ \*研究員・準事務局員 ◆故人 ◇新任

# 演奏会でのお願い

ご来場の皆様に演奏会を  
楽しんでいただくためにご協力下さい

Please keep in mind the following rules, protocol and etiquette so that all of our guests may enjoy today's concert.



## チケットに記載された 座席でご鑑賞ください

お手持ちのチケットに記載されている座席番号にのみ有効です。座席移動はご遠慮ください。また係の者が、チケットを拝見・確認させていただく場合がございます。

Please be seated at the seat number designated on your ticket.



## 補聴器の確認を

補聴器をご使用のお客様は、ハウリングの発生を避けるためにきちんと装着されているか今一度お確かめください。

For our guests who wear hearing aid devices, please check that your device is suitably set before the performance begins.



## 開演前に携帯電話、 時計のアラーム音、 電子機器等の電源はOFF

マナーモードにしても振動する音が響きますので、電源は必ず切るようにしましょう。

Switch OFF your mobile telephones, wristwatch alarms and all other noise-emitting electronic devices before the performance begins.



## 演奏中の 飲食はご遠慮ください

のど飴等の包み紙を開ける音は思っている以上に場内に響きますので、演奏中の開封はご遠慮ください。のど飴は演奏開始前までに口の中へ入れておきましょう。

Refrain from eating and drinking during the performance.



## 演奏中はお静かに

手荷物につけている鈴やビニール袋等、音の出るものは音を立てないようにご注意ください。演奏中の私話、プログラムやスコア等紙類をめくる音、かばんのチャック等をいじるのも雑音となりますのでご注意ください。

Please be silent during the performance.



## 周囲の視界を遮るような 行為はやめましょう

身を乗り出しての鑑賞や、つばの広い帽子や高さのある帽子は脱いでご鑑賞ください。またリズムをとる行為も、隣の人の迷惑になりますのでおやめください。

Please refrain from wearing hats or rhythmically swaying in a way which could disturb or obstruct the view of those seated near you.



## 開演後の入場を 制限させていただきます

開演後のご入場、曲間・楽章間のご入場は制限させていただきます。途中入場がある場合は、係員の指示に従ってください。

You will not be permitted to enter the concert hall during a performance.



## 咳、くしゃみをする際は ハンカチで押さえましょう

ハンカチをあてがうことで音量はかなり軽減されます。

Please use a handkerchief to help suppress the noise from any coughing or sneezing.



## 曲の余韻も 演奏のうちです

フライングブラボーやフライング拍手はお控えください。

The lingering sounds and moments are part of the performance. Please hold your applause or shouting your appreciation until the actual end of the performance.



## 香水は控えめに

Refrain from wearing an excessive amount of perfume.



## ホール内での録音・録画・ 写真撮影は禁止です

Photography, filming and recording are prohibited.

6/26 FRI. 28 SUN.

## 第681回 定期演奏会

2020年6月26日(金) 7:00p.m. サントリーホール

## Subscription Concert Series No.681

Fri. 26th. June 2020, 7:00p.m. Suntory Hall

## 川崎定期演奏会 第76回

2020年6月28日(日) 2:00p.m. ミューザ川崎シンフォニーホール

## Kawasaki Subscription Concert Series No.76

Sun. 28th June 2020, 2:00p.m. Muza Kawasaki Symphony Hall

飯守泰次郎 [指揮]

田部京子 [ピアノ]

水谷 晃 [コンサートマスター]

Taijiro Iimori, Conductor

Kyoko Tabe, Piano

Akira Mizutani, Concertmaster

ベートーヴェン:

「プロメテウスの創造物」序曲 作品43 (6')

L.v.Beethoven : "Die Geschöpfe des Prometheus" Overture, op.43 (6')

ベートーヴェン:

ピアノ協奏曲 第3番 ハ短調 作品37 (36')

L.v.Beethoven :

Piano Concerto No.3 in C minor, op.37 (36')

I. アレグロ・コン・ブリオ

II. ラルゴ

III. ロンド : アレグロ

I. Allegro con brio

II. Largo

III. Rondo : allegro

休憩(20')

Intermission(20')

メンデルスゾーン:交響曲 第3番 イ短調

作品56「スコットランド」(40')

F.Mendelssohn : Symphony No.3 in A minor, op.56 "Scottish" (40')

I. アンダンテ・コン・モート -

アレグロ・ウン・ポコ・アジタート

II. ヴィヴァーチェ・ノン・トロップ

III. アダージョ

IV. アレグロ・ヴィヴァーチッシモ -

アレグロ・マエストロソ・アッサイ

I. Andante con moto -Allegro un poco agitato

II. Vivace non troppo

III. Adagio

IV. Allegro vivacissimo -Allegro maestoso assai

●主催/公益財団法人東京交響楽団

●特別協賛/株式会社エイチ・アイ・エス

●助成/文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術創造活動活性化事業)|独立行政法人日本芸術文化振興会

●後援/川崎市(6/28)、「音楽のまち・かわさき」推進協議会(6/28)

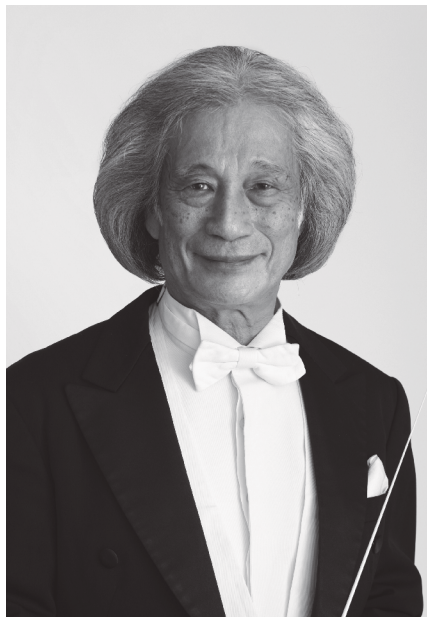
●協力/ミューザ川崎シンフォニーホール(川崎市文化財団グループ)(6/28)

※発表当初の予定から出演者が変更になりました。※6/28はニコニコ生放送による生配信がございます。

楽曲解説はP.06をご覧ください



6/26 FRI. 28 SUN.



©武藤 章

# Taijiro Imori

Conductor

飯守 泰次郎 [指揮]

現在、仙台フィルハーモニー管弦楽団の常任指揮者、東京シティ・フィル桂冠名誉指揮者、関西フィル桂冠名誉指揮者を務める飯守泰次郎は、桐朋学園で学んだ後、ヨーロッパで研鑽を積み、ハンブルク州立歌劇場などの指揮者を歴任、オペラ指揮者として確固たる実績を築き上げる。また、1970年からはバイロイト音楽祭の音楽助手として数々の歴史的公演に加わり、当時バイロイト・フェスティバル総監督であったヴォルフガング・ワーグナー氏から絶大な信頼を得た。

90年代より国内での活動を再び活性化させ、名古屋フィル常任指揮者、東京シティ・フィル常任指揮者、関西フィル常任指揮者、新国立劇場オペラ部門芸術監督を歴任。古典派からロマン派にかけてのレパートリーを根幹に、意欲的な活動を展開。

これまでに2010年11月旭日小綬賞、2012年度日本芸術院賞、2014年度第56回毎日芸術賞などを受ける。また、2012年度の文化功労者に選ばれ、2014年12月には日本芸術院会員に選ばれた。

Taijiro Imori is the Chief Conductor at the Sendai Philharmonic Orchestra and Honorary Conductor Laureate both at the Tokyo City Philharmonic Orchestra and the Kansai Philharmonic Orchestra. He graduated from Toho Gakuen, before continuing on with his studies in Europe. He later held conducting posts at various opera houses including Staatsoper Hamburg, achieving remarkable success as an opera conductor. From 1970, he participated in a number of historical performances at the Bayreuth Music Festival as its musical assistant and gained immense credibility with the then General Director of the festival, Wolfgang Wagner.

In the 1990s, Taijiro Imori expanded his career in Japan. He held the position of resident conductor at the Nagoya Philharmonic Orchestra, the Tokyo City Philharmonic Orchestra and the Kansai Philharmonic Orchestra as well as Artistic Director of Opera with the New National Theatre, Tokyo.



©Akira Muto

# Kyoko Tabe

Piano

田部 京子 [ピアノ]

17歳で日本音楽コンクール優勝。ベルリン芸術大学に学び、ミュンヘン国際音楽コンクール (ARD) など受賞多数。バイエルン放送響、バンベルク響、モスクワ・フィルとの共演他、世界のトップアーティストから厚い信頼を寄せられている。CDは30枚以上をリリース、その多くが国内外で特選盤に選出。

大成功を収めているリサイタルシリーズは、2016年からスタートした『シューベルト・プラス』が好評を博している。

2018年にCDデビュー 25周年を迎え、東京芸術劇場で一夜に2曲のピアノ協奏曲を演奏した他、全国各地でリサイタルを開催。第一線で演奏活動が続ける傍ら、桐朋学園大学院大学教授も務める。日本を代表する実力派ピアニストとしてますます人気を集めている。

Winning first prize in the Japan Music Competition at the age of 17, Kyoko Tabe studied at Berlin University of the Art and won several other competitions including International Music Competition ARD in Munich. A guest soloist with Bavarian Radio Symphony Orchestra, Bamberger Symphoniker,

Moscow Philharmonic Orchestra and many other renowned orchestras, she has earned trust from many top artists throughout the world. She has released more than 30 CDs and many of them are selected for specially selected CDs in and out of Japan.

A very successful recital series which started in 2016 is the "Schubert Plus", receiving both critically and public acclaims.

2018 celebrated her 25th anniversary of her CD debut and she played 2 piano concertos in one night at Tokyo Metropolitan Theatre as well as recitals throughout Japan. While she continues to perform actively, she also teaches

at Toho Gakuen Graduate School. She is increasingly becoming popular for her talent and is the foremost pianist in the country.

## 6/26 FRI. 28 SUN.

ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン(1770～1827)

## 「プロメテウスの創造物」序曲 作品43

ハイドンとモーツァルトの間の世代に位置するチェリストで、作曲家のルイジ・ボッケリーニ(1743～1805)。彼に作曲も師事した甥のサルヴァトーレ・ヴィガーノ(1769～1821)は、当時のスター・バレエダンサーとしてヨーロッパ各地で華々しい活躍をみせた。特に、踊りの技術に偏重することなく、総合芸術としてのバレエを目指し、パントマイムの要素を強めるなど、後のバレエのスタイルの先駆となった存在だった。

1799年にはウィーンの宮廷バレエ・マイスターに就任。新作バレエを制作するにあたり、白羽の矢が立てられたのがベートーヴェンであった。20歳の頃のボン時代、既にバレエ音楽の作曲経験があったこともあり、依頼を快諾。ヴィガーノの台本に基づき、全18曲——時間にして1時間以上にわたる音楽を書き上げた。このうち終曲は後に、変奏曲作品35と交響曲第3番《英雄》作品55の第4楽章でも変奏曲の主題として転用されていたりするのだが、現在、演奏機会が多いのは序曲のみである。

序奏付きのソナタ形式によって構成されているのだが、実はモデルになっている楽曲が存在する。それはモーツァルトのオペラ『コジ・ファン・トゥッテ』序曲だ。和音のトゥッティ(総奏)によって始まり、そこにオーボエの旋律が続くところも酷似しており、そしてテンポが上がる主部の弦楽器のパッセージも、上下を反転させた形の音形がモーツァルトにも出てくるのだ。他人の空似とは思えぬほどだが、冒頭の和音は前年に初演されたばかりの交響曲第1番と同じような手法で始まるなど、自らの個性を入れ込むことも、もちろん忘れていない。明らかな剽窃にはならないよう注意が払われているかのようである。

とりわけ展開部と終結部は、完全にモーツァルトから逸脱し、ベートーヴェンらしいコントラストの効いた音楽を聴かせてくれる。

小室 敬幸 TEXT by Takayuki Komuro

作曲：1800～1801年

初演：1801年3月28日、ウィーン

編成：フルート2、オーボエ2、クラリネット2、ファゴット2、ホルン2、トランペット2、ティンパニ、弦5部

ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン(1770～1827)

## ピアノ協奏曲 第3番 ハ短調 作品37

13歳の頃、既にチェンバロ協奏曲を書いていたルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェンは、15歳から改めてピアノ協奏曲を作曲し始めるも、第2番(変ロ長調)と第1番(ハ長調)の最終稿が完成したのは20代の後半。この頃から第3番(ハ短調)の構想も練られ始めたが、やはり完成までには長い時間を要した。モーツァルトのピアノ協奏曲で同じ調性をもつ第24番があまり好きになれなかったというベートーヴェンにとって、モーツァルトのスタイルを模範にしながらも、どうすれば自分の個性が十分に発揮できるのか?……という課題をクリアするまでは、この第3番を完成させるわけにはいかなかったのだろう。

転機となったのは、1802年10月。いわゆる「ハイリゲンシュタットの遺書」をしたためた後が、中期と呼ばれる時期になり、よりドラマティックな音楽を志向するようになって、主題となる旋律もシンプルなものが増えていく。主和音(ド・ミ♭・ソ)の分散和音からはじまる本曲も、その方向性に合致しているといえるだろう。1803年4月5日の初演時点では、ピアノパートの楽譜は完成されないまま演奏され、翌年になって弟子のフェルディナント・リース(1784～1838)が演奏することになり、その際に改めてピアノパートの楽譜が仕上げられた。

ソナタ形式による第1楽章は、冒頭の4小節で弦楽器が第1主題を提示。すぐさま、このひとつの旋律から、聴いた印象の異なる旋律を手際よく生み出していくことで音楽を進めていく。展開部では緊張感を高める方向には向かわず、再現部冒頭にクライマックスを迎えるのも中期らしい特徴だ。主調(♭3つのハ短調)から最も遠い#4つのホ長調へ転じてしまう第2楽章でもソナタ形式によっており、ピアノが主体となって繊細な音楽を紡いでいく。ロンドと銘打たれた第3楽章は、中間部まではロンド形式そのものなのだが、後半部の第1主題が度々展開されたりと、ソナタ形式の要素が強まっていく。ラストは第1主題が長調になり、プレストで駆け抜けていく。

小室 敬幸 TEXT by Takayuki Komuro

作曲：1796～1803年／1804年

初演：1803年4月5日、ウィーン。作曲家自身による指揮・独奏

編成：独奏ピアノ、フルート2、オーボエ2、クラリネット2、ファゴット2、ホルン2、トランペット2、ティンパニ、弦5部

## 6/26 FRI. 28 SUN.

フェリックス・メンデルスゾーン(1809～1847)

## 交響曲 第3番 イ短調 作品56「スコットランド」

20歳の時、ロンドンで外交官をしている親友を頼りにイギリス旅行へ赴いたフェリックス・メンデルスゾーンは、当時の人気作家ウォルター・スコットにひと目会えれば……という願いゆえ、スコットランドにも足を伸ばした。当地で訪れたホリールードハウス宮殿の朽ち果てた礼拝堂にて、彼はシラーによる戯曲の題材にもなったブラッディ・メアリーの異名をもつ女王メアリー・スチュアート(1516～1558)に思いを馳せ、12小節のコーラルをスケッチする。この旅行から13年後に完成した本曲の冒頭で表れる物悲しい音楽は、このスケッチをもとにしているのである。

作品は全4楽章、すべてソナタ形式で構成され、切れ目なく演奏されていく。

**第1楽章**は前述したコーラルが序奏となり、テンポが上がる主部からはプロテスタントを大迫害し、多くの人々を処刑したメアリー女王の肖像のようにも聴こえてくる。最後にはコーラルが回帰し、**第2楽章**へと突入。楽しいスケルツォだが、主題はコーラルから派生している。

続く**第3楽章**は緩徐楽章。前奏の後に第1ヴァイオリンによって奏でられていく第1主題は、アヴェ・マリア(=メアリー)の歌詞に基づいて書かれていると主張する研究者もあり、いわばメアリーへの哀歌だといえる。

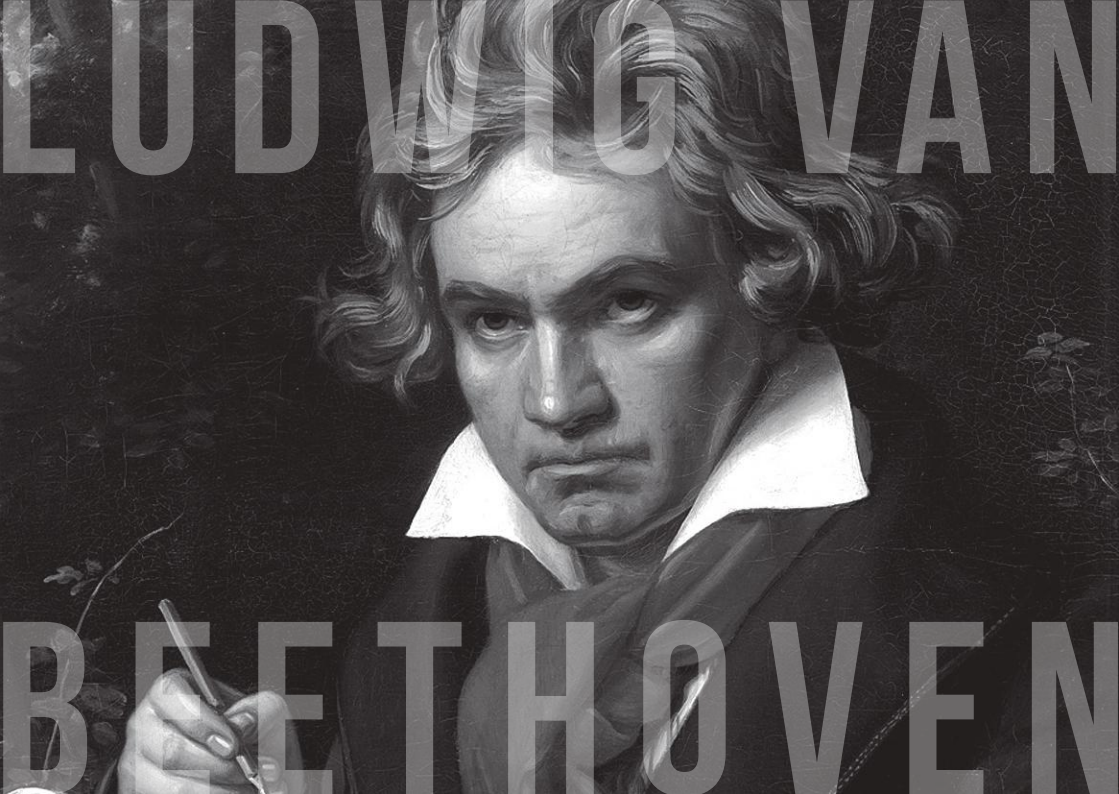
**第4楽章**はフィナーレに相応しい、嵐のような音楽が連なっていくが、終盤で一旦沈静化。明るい終結部へと転じ、ホルンが輝かしい旋律を奏するが、これはメンデルスゾーンの過去の合唱曲《アヴェ・マリア》作品23 No. 2からとられたもの。やはり、最後までメアリーを強く意識しているのだろう。

小室 敬幸 TEXT by Takayuki Komuro

作曲：1829～1842年

初演：1842年3月3日、ライプツィヒ。作曲者自身による指揮、ライプツィヒ・ゲヴァントハウス管弦

編成：フルート2、オーボエ2、クラリネット2、ファゴット2、ホルン4、トランペット2、ティンパニ、弦5部



Symphony Lounge [シンフォニー・ラウンジ]

## ベートーヴェンのピアノ協奏曲の軌跡

沼口 隆(音楽学) Text by Takashi Numaguchi

ピアノ協奏曲は、公の場でピアニストとしての腕前と作曲家としての能力とを印象付ける格好の手段であった。ベートーヴェンの場合、第3番までは、新作は出版せずに手元に置き、自分の演奏用に温存していたことが本人の言葉からも窺える。演奏家として、手の内を明かさないという意味もあったのであろう。

こうした演奏・創作活動を伝える最初の痕跡は、ボン時代に13歳で作曲したと推定される変ホ長調の協奏曲(WoO 4)で、彼の最初の管弦楽曲でもある。唯一

の現存資料は、弾き振りのためのものと考えられるピアノ独奏用の筆写譜で、完全な独奏パートのほか、ピアノ編曲されたオーケストラパートが書き込まれ、そこに担当楽器がメモされている。ボン宮廷で初演されたと考えられるが、出版は旧全集の枠組みにおいて、1890年に至ってからであった。オーケストラパートを再構築した上での録音が幾つもある。

次に古い起源をもつのは、協奏曲第2番である。初稿はボン時代末期の1786～92年には成立していたと見られており、

## ベートーヴェンのピアノ協奏曲の軌跡

ウィーンに移住して間もない93年に改訂したと考えられる。この時に終楽章となったのが変ロ長調のロンド(WoO 6)で、現在知られている形は1793年に成立したものだが、複数の研究者は、これ自体にも先行形があって、第2番の最初期稿のフィナーレだったのではないかと推測している。WoO 6は、弟子のカール・チェルニー(1791~1857)の編曲で1829年にパート譜が出版され、それが旧全集で総譜化されたため、録音もこの形でのものが多い。第2番は、1794~95年にも改訂され、新しいフィナーレが作曲された。現存する総譜は、さらなる抜本的な改訂を経て1798年末に成立したものだと考えられている。しかし独奏声部については、出版直前の1801年4月頃までに、さらに手を加えたことが分かっている。

第1番のスケッチで、知られている中では最も古いのは、1793年のものである。1794~95年初めには、ひとまず完成したようで、その形で1795年に初演されている。1800年4月2日には、ベートーヴェン主催による初めての演奏会が開かれたが、それに先立って改訂・浄書されている。最終稿のパート譜は1801年3月に出版された。

第3番については、まとまったスケッチが現存せず、成立時期についても明確ではないが、もっとも古いスケッチは1796年にまで遡り、基本的には1799年末から1804年の間に成立したと考えられている。自筆譜には1803年との記入があり、1803年4月5日にベートーヴェン主催の演奏会で初演されて、1804年秋にはパート譜が出版された。ただし、第1・2番の場合のように、初期稿が存在した可能性も十分に考えられる。

1808年12月22日の演奏会は、ピアノコンチェルト第4番のみならず、交響曲第

5・6番や合唱幻想曲も初演するという、ベートーヴェン中期の集大成のようなものだった。これは作曲者自身がコンチェルトの独奏者を務めた最後ともなった。第4番の創作は、1803年にまで遡る可能性もあるが、基本的には1805~06年だったと推定され、1806年の夏前には成立していた可能性が高い。

1808年末の演奏会のあと、ベートーヴェンはすぐに第5番に着手したと見られる。1809年4月までにスケッチを済ませ、夏ごろには完成していたと推測されるが、初演は1811年1月13日になってからであった。パート譜は、ロンドンですでに1810年11月に出版されており、創作・演奏と出版との間に大きな時間差があった初期との相違が明瞭である。第5番は、カデンツァが予め書かれていて、独奏者に即興の余地がない初めての協奏曲だが、1809年には、第1~4番のためのカデンツァも集中的に書き残している。

1815年初頭、ベートーヴェンは演奏会開催を念頭に二長調のピアノコンチェルトの創作に乗り出した。2014年刊の新しい作品目録では、未完作品がUnvという記号で整理されたが、Unv 6が付けられたのが、この時の協奏曲の断片で、第1楽章の第256小節で中断されている(Hess 15という整理番号もある)。中断の理由には諸説あるが、明確な結論を導くことはできない。自筆譜は、構想というのに近いもので、1987年に初演されたイギリスの音楽学者ニコラス・クックによるものなど、補筆完成の試みがある。ちなみにAnhang 7として整理されている二長調の第1楽章は、誤ってベートーヴェンの作品として1890年に旧全集に収められたが、1925年にボヘミアの作曲家ヨーハン・ヨーゼフ・レスラー(1771~1813)の作品であることが裏付けられた。

# Together With TSO

for Music Lovers

## 東京交響楽団サポート会員

©N Ikegami

ご芳名 (敬称略)

法人会員

### プラチナ会員

株式会社エイチ・アイ・エス  
ハウステンボス株式会社  
株式会社ドワンゴ

### ダイヤモンド会員

有限責任 あずさ監査法人  
株式会社伊藤総合事務所  
株式会社インサイド・アウト  
花王株式会社  
環境ステーション株式会社  
学校法人創志学園  
株式会社ティーワイ リミテッド  
株式会社日本財託  
ピーアークホールディングス株式会社  
株式会社フェイス

### ゴールド会員

株式会社青山メインランド  
イーサポートリンク株式会社  
サントリーホールディングス株式会社  
新菱冷熱工業株式会社  
セントラル短資FX株式会社  
社会医療法人財団石心会  
玉川学園・玉川大学  
玉の肌石鹸株式会社  
中外製薬株式会社  
株式会社TFDコーポレーション  
株式会社鉄鋼ビルディング  
株式会社トーションパートナーズ  
西松建設株式会社  
株式会社NIPPO  
株式会社日本M&Aセンター  
株式会社日本ポステム  
株式会社パソナグループ  
ヒノキ新薬株式会社  
司法書士法人ふなざき総合事務所  
株式会社ぶらう  
丸紅新電力株式会社  
ミヨシ油脂株式会社  
ヤマザキビスケット株式会社  
横浜自動車部品株式会社

### シルバー会員

株式会社エステシア  
株式会社NHKビジネスクリエイト  
公益財団法人青梅佐藤財団  
川崎信用金庫  
学校法人順心広尾学園  
松竹株式会社  
有限会社青史堂印刷  
月島食品工業株式会社  
東京鐵鋼株式会社  
日本宅配システム株式会社  
株式会社野毛印刷社  
久光製薬株式会社  
本田技研工業株式会社  
司法書士法人村田事務所  
株式会社LALLヒューマンホールディングス

### ブロンズ会員

アーティスト ホールディングス株式会社  
NPO法人かわさき市民アカデミー  
酒蔵駒八 別館  
株式会社シグマコミュニケーションズ  
新宿村スタジオ  
ニッシンエレクトロ株式会社  
富士ゼロックス神奈川株式会社  
前山歯科医院  
株式会社ヤクワ  
株式会社U・STYLE  
株式会社ワイ・ティ・ビィ

### 賛助企業

アサヒビール株式会社  
東海大学教養学部 芸術学科音楽学課程  
政鬼運輸株式会社  
山崎製パン株式会社

匿名3社





## <東京交響楽団サポート会員制度>

東京交響楽団は、一流指揮者の招聘やチャレンジングなプログラミングによる定期演奏会の充実、次世代を担う子供たちの育成等、これまで以上に積極的な演奏活動を展開し、音楽文化の向上に努めて参ります。そのために不可欠な運営基盤の強化のため、広くご支援をお願いしております。みなさまのご入会を心よりお待ちしております。

### 個人会員

フレンズ1

年額1万円  
～29,999円

フレンズ3

年額3万円  
～49,999円

フレンズ5

年額5万円  
～99,999円

サークル10

年額10万円  
～249,999円

サークル25

年額25万円  
～499,999円

サークル50

年額50万円～

### 法人会員

東京交響楽団とのパートナーシップは、御社のイメージアップにつながるだけではなく、従業員の皆様の福利厚生にもつながります。

ブロンズ

年額10万円～

シルバー

年額30万円～

ゴールド

年額50万円～

ダイヤモンド

年額100万円～

プラチナ

年額1000万円～

会員特典	詳細はHP、 又はお電話でお問合せ下さい	法人会員				
		法人会員	サークル 会員	フレンズ5	フレンズ会員 フレンズ3	フレンズ1
主催公演へご案内		○	○			
出演者・楽員との懇親会		○	○			
オリジナルイベント		○	○	○	○	
ゲネプロ見学会(年3回以上)		○	○	○	○	
リハーサル見学会(年3回以上)		○	○	○	○	○
ご芳名掲載		○	○	○	○	○
主催公演チケット先行予約*1		○	○	○	○	○
公演チケットをご優待価格にてご案内*2		○	○	○	○	○

\*1 一部対象外もございます。\*2 東京交響楽団の主催公演およびミュージアムザ川崎シンフォニーホール主催公演が対象です。一部対象外もございます。

### 税制上の優遇措置について

東京交響楽団は内閣府より公益財団法人の認定を受けており、当楽団への御寄附には税制上の優遇措置が施されます。

◎個人の場合：「寄附金額から2,000円引いた金額」の40%分\*について、税金(所得税・個人住民税)を控除されます。

また相続税にも控除が適用されます。

◎法人の場合：「損金算入限度額」が一定の算式に従い、拡大されます。\*

\*但し、各該当法令で定められた限度があります。

その他、マッチングギフトやご遺贈についてもご案内させていただいております。

公式サイトからクレジットカードでサポート会員にご入会(ご寄付)いただけるようになりました。

<http://tokyosymphony.jp/support/procedures.html>



サポート会員へのご入会・お問合せ TEL 044-520-1518

公益財団法人東京交響楽団川崎オフィス 支援開拓本部 E-mail [supporters@tokyosymphony.com](mailto:supporters@tokyosymphony.com)

『ワーグナー：トリスタンとイゾルデ(演奏会形式)』特集③

## 演奏会形式が伝えるオペラの「音楽」

広瀬 大介 Daistuke Hirose

(音楽学・音楽評論)



こんなことを公に書いては、本当のオペラ・ファンに怒られてしまうかもしれないが、この原稿の依頼を頂いて、私は本格的なオペラの舞台上演よりも、実は演奏会形式のオペラ公演を愉しみにしているのかも、と思い至った。

もちろん、演出家のみずからの世界観に則った舞台を作り上げ、作品世界の新しい可能性を提示してくれるのは刺激的な体験であり、それこそが非日常の劇場体験の醍醐味でもある。だが、オペラの世界を成り立たせる一要素たる音楽の世界を、音楽だけで愉しみたい、と感じることも、正直少なくない(これは筆者がオペラの音楽を研究しているということと切り離せないという点は重々自覚しつつ、だが)。ワーグナーのように、音楽のどの一瞬を切り取っても、それがドラマと密接に結びついている作品の場合は、視覚情報とのズレが起きてしまうと、それだけで音楽への没入が閉ざされてしまうこともある。

とりわけ、『トリスタンとイゾルデ』は、その顕著な例といえる。第1幕の最後、イゾルデが差し出した毒酒をトリスタンはあおり、慌てたイゾルデはそれを取り返して残った半分を飲み干す。朦朧とした意識の中で、自分が生死のどちら側にいるのかも定かでないまま、ふたりはお互いの姿を見出

し、やがて互いの愛情を告白しあうことになる。一瞬の出来事なのか、何時間も経った後なのか、時空すら超越して登場人物の精神状況を描ききる音楽は、聴き手にさまざまな想像をかき立てずにはおかない。それ故に、ひとつの解釈にどうしても聴き手を誘導することになる舞台の視覚的情報は、それが自分の想像とかけ離れたものであった場合には、音楽との一体感が著しく損なわれてしまうのである。

第2幕もそんな場面の連続である。1時間に及ぼうかというふたりの愛の語らいは、はじめこそ情熱的に互いを求め合うものの、やがて高度な哲学的思索を深めていく。「トリスタンとイゾルデ、この甘美な“と”こそ、愛を結ぶ絆では？」と語るふたりの内面世界を描くに至っては、もはやどのような舞台装置も助けとはなるまい。第3幕最後では、ふたりの愛は死と結びつき、やがて宇宙と一体となる。ワーグナーの奇跡的な音楽がそれを描ききる以上、聴き手としては、そのワーグナーに敬意を捧げ、音楽が描く世界に浸りきるよりほかはない。

「密」な世界を避けざるを得ないこれからの時代において、数多くのひとを必要とするオペラを愉しむ一助として、演奏会形式の効用は大きく見直されるはずである。

# NEWS & TOPICS

理事就任

2020年6月18日付

竹中 平蔵 Heizo Takenaka

1951年生まれ。慶應義塾大学名誉教授、東洋大学教授。博士(経済学)。一橋大学卒業。ハーバード大学客員准教授、慶應義塾大学総合政策学部教授などを経て01年、小泉内閣の経済財政政策担当大臣、金融担当大臣、総務大臣などを歴任。現在、公益社団法人日本経済研究センター研究顧問、アカデミーヒルズ理事長、(株)パソナグループ取締役会長、オリックス(株)社外取締役、SBIホールディングス(株)社外取締役、世界经济フォーラム(ダボス会議)理事などを兼職。



## 無観客ライブ無料配信 マッチングギフトコンサート開催!

東京交響楽団は、フランチャイズ契約を結ぶ川崎市の協力のもと、無観客ライブ無料配信「川崎市×東京交響楽団 Live from Muza~マッチングギフトコンサート~」を開催することとなりました!

全3回の公演は、いずれもミュゼ川崎シンフォニーホールを会場に、「ニコニコ生放送」にて収録・生放送いたします。なお本事業は、当団への寄付も同時に募り、寄付金額と同額相当分の支援を川崎市が実施するマッチングギフトコンサートとして行います。



マッチングギフトコンサート公演詳細は次のページでご確認ください。

## ニコニコチャンネル「ニコニコ東京交響楽団(ニコ響)」開設!!

ネットを活用した演奏会の告知・公開を定期的に行っていく場として、このたび当団のニコニコチャンネル「ニコニコ東京交響楽団(ニコ響)」を開設いたしました。プロオーケストラによるニコニコチャンネルの開設は今回が初!多くの皆様の視聴をお待ちしております!

チャンネルページはこちらから▶



# NEXT PROGRAM

7/18(土) 東京オペラシティシリーズ 第116回  
2:00p.m. 東京オペラシティコンサートホール

指揮: ジョナサン・ノット

ヴィオラ: ディミトリ・ムラト

ムソルグスキー: はげ山の一夜

ベリオ: 声(フォーク・ソングⅡ)

チャイコフスキー: 交響曲 第6番「悲愴」

S¥8,000 A¥6,000 B¥4,000 C¥3,000



7/25(土) 第682回 定期演奏会  
6:00p.m. サントリーホール

7/26(日) 新潟定期演奏会 第117回 5:00p.m.

「リゅーとびあ」コンサートホールも同プログラムで開催

指揮: ジョナサン・ノット

弦楽四重奏: ロータス・カルテット

ラッヘンマン: 「ドイツ国歌を伴う舞踏組曲」

マーラー: 交響曲 第5番 嬰八短調

S¥9,000 A¥7,000 B¥6,000

C¥4,000 P¥3,000



無観客ライブ無料配信

## 川崎市&東京交響楽団 Live from Muza ! マッチングギフトコンサート

1 2020年6月23日(火) 19:00開演(18:30配信開始)

指揮: 原田慶太楼

【絢爛豪華な金管アンサンブル】

映画「サウンド・オブ・ザ・ミュージック」メドレーほか



ご視聴は  
こちらから▶



2 2020年6月27日(土) 14:00開演(13:30配信開始)

指揮: 飯森範親

【魅惑優美な木管アンサンブル】

チャイコフスキー: 弦楽セレナードほか



ご視聴は  
こちらから▶



3 2020年7月3日(金) 19:00開演(18:30配信開始)

指揮: 井上道義

【色彩あふれる打楽器アンサンブル】

モーツァルト: 交響曲第36番「リンツ」ほか



ご視聴は  
こちらから▶



# 東京交響楽団

川崎市フランチャイズオーケストラ  
新潟市準フランチャイズオーケストラ  
＜提携＞公益財団法人八王子市学園都市文化ふれあい財団



公式サイト

<http://tokyosymphony.jp>



1946年、第二次世界大戦によって中断された音楽文化の再建と、新しい舞台音楽の公演を目標に「東京交響楽団」として創立。1951年に東京交響楽団に改称し、現在に至る。

現代音楽やオペラの初演に定評があり、これまでに文部大臣賞、京都音楽賞大賞、文化庁芸術作品賞、モービル音楽賞、サントリー音楽賞、川崎市文化賞など日本の主要な音楽賞の殆どを受賞。2020年3月第32回ミュージック・ペンクラブ音楽賞「オペラ・オーケストラ部門」「室内楽・合唱部門（東響コーラス）」をW受賞した。

2014年度シーズンより、ジョナサン・ノットが第3代音楽監督に就任。音楽監督と共に3年がかりで取り組んだ「モーツァルト 演奏会形式オペラシリーズ」や、ミュージザ川崎シンフォニーホール開館15周年記念公演《グレの歌》はいずれも高い評価を得た。2019年にはジョナサン・ノット指揮「マラー：交響曲第10番&ブルグナー：交響曲第9番」が第31回「ミュージック・ペンクラブ音楽賞優秀録音作品賞」を受賞。音楽誌「音楽の友」の「41人の音楽評論家・記者が選ぶ「コンサート・ベストテン2019」」にて、最多3公演が選出され注目を集めた。

ITへの取り組みも積極的で、「VRオーケストラ」や「LINEチケット」の導入、日本のオーケストラとして初の音楽・動画配信サービス「TSO MUSIC&VIDEO SUBSCRIPTION」をスタートし注目を集める。また、録音や放送においても活発で、テレビ朝日「題名のない音楽会」ハレギュラー出演や、TOKYO SYMPHONYレベル、N&Fレベル、キングレコード、EXTONレベル、日本コロムビア等からCDを多数リリリースしている。

舞台芸術創造活動活性化事業として文化庁の助成を受け、サントリーホール、ミュージザ川崎シンフォニーホール、東京オペラシティコンサートホールで主催公演を行うほか、川崎市とフランチャイズ、新潟市と準フランチャイズ、(公財)八王子市学園都市文化ふれあい財団とパートナーシップ提携し、コンサートやアウトリーチなどを積極的に展開している。これら地域に密着した活動の一方で、海外においてもウイング楽友協会での公演や日中平和友好条約締結40周年記念公演等58都市で78公演を行い、国際交流の実を挙げた。

また、新国立劇場では1997年の開館時からレギュラーオーケストラとして毎年オペラ・バレエ公演に出演。さらに、子どものための演奏会にもいち早く取り組んでおり、「0歳からのオーケストラ」「こども定期演奏会(サントリーホールとの共催)」は多方面から注目されている。

東日本大震災を機に、2011年5月から楽団員によるチャリティコンサート「Concert For Smiles」を定期的に開催。その募金は(公財)国際開発救援財団を通じて被災地に役立てられている。


Jonathan Nott began his tenure as the 3rd Music Director of the Tokyo Symphony Orchestra in 2014 season. In March 2020, Mo. Nott and the Orchestra won the Music Pen Club Japan Award for Opera & Orchestra category and Tokyo Symphony Chorus, Orchestra' s amateur chorus also won the prize for Chamber & Chorus category.

Highlights of past seasons with Mo. Nott include Symphony 9 by Beethoven Gurre-Lieder by Schoenberg celebrating 15th Anniversary of Muza Kawasaki Symphony Hall, 'TSO' s home and Mozart' s Da Ponte Operas in concert style. In 2018, TSO launched "TSO Music & Video Subscription", first-ever digital project in Japanese Orchestras, which provides live-concert video and music as well as CD recording.

Outside of Japan, the orchestra has performed 78 concerts in 58 cities since 1976. In 2016, the Tokyo Symphony Orchestra celebrated its 70th anniversary and took a European tour including the concert at Musikverein Großer Saal in Vienna with Mo. Nott. In August 2018, in commemoration of the 40th anniversary of the Conclusion of the Treaty of Peace and Friendship between Japan and China, the Orchestra had concerts in Shanghai and Hangzhou and received high praise. The Tokyo Symphony Orchestra was founded in 1946 and has a reputation for giving first performances of a number of contemporary music and opera. Through these activities, the orchestra has received most of Japan' s major music awards such as the Minister of Education Award, the Grand Prix of Kyoto Music Award, Mainichi Art Award, Agency for Cultural Affairs Art Award, Suntory Music Award and Kawasaki City Culture Award.

Since becoming the resident orchestra of the City of Kawasaki in 2004, a semi-resident orchestra agreement with the City of Niigata in 1999, and a partnership agreement with Hachioji College Community & Culture Fureai Foundation in 2013, the orchestra has been enthusiastic for school concerts and community concerts. The Tokyo Symphony Orchestra has been regularly performing various operas and ballets at the New National Opera Theatre, Tokyo since its opening in 1997.

 **マエストロ・シート**  
【5組10名の小・中・高校生無料ご招待】



音楽・動画配信サイト  
「TSO MUSIC & VIDEO  
SUBSCRIPTION」

1か月  
500円  
(税別)



このプログラムは見やすさ・読みやすさに配慮したユニバーサル・デザインフォントを使用しております。

Tokyo Symphony Orchestra Monthly Concert Brochure  
**Symphony**

Symphony 2020年(令和2年)6月号[非売品]  
発行 公益財団法人東京交響楽団 〒169-0073 東京都新宿区百人町2-23-5 TEL 03-3362-6764  
＜川崎オフィス＞ 〒212-8554 神奈川県川崎市幸区大宮町1310  
ミュージザ川崎セントラルタワー 5階 TEL 044-520-1518

Art Direction & Design : Be.To Bears 印刷 : NHHビジネスクリエイト